

第134回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年8月10日（水） 9：20～9：50	場所	Web
出席者	西岡市長、小澤副市長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、堤企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、根本地域福祉課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナワクチン接種について</li> <li>2 新型コロナウイルス感染症への対応について</li> <li>3 各部連絡事項</li> </ol>			
資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について</li> <li>2 新型コロナウイルス感染症に係る医療機関・保健所からの証明書等の取得に対する配慮について（要請）</li> <li>3 「東京都陽性者登録センター」の対象年齢の拡大について</li> <li>4 新型コロナウイルス感染症対策「自分、そして大切な人を守る特別期間」について</li> <li>5 お盆期間中に帰省される方への検査受検の呼びかけ等について（訂正）</li> <li>6 緊急申し入れ</li> </ol>			
<p>（進行：福祉保健部長）</p> <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症について、BA.5、BA2.75といった進化系が急速な勢いで広がっており、現在も深刻な状況。特に医療現場がひっ迫しており、医師会等医療従事者の方には日々奮闘いただいているところである。</li> <li>・現時点でも、政府から行動制限の措置といった発表はなされていない。引き続き現状どおり感染症対策とワクチン接種に取り組んでいく。</li> <li>・市内感染者数は累計で16,900人。療養者は8月6日時点で89人が入院中、55人が宿泊療養、1,928名が自宅療養となっており、依然として深刻な状況が続いている。</li> <li>・ワクチン接種についても、3・4回目の接種者の増加、5～11歳以上の接種と、あらゆる世代で接種が進んでいる。4回目接種については、60歳以上の接種率が60%を超えている。</li> <li>・10月下旬からはオミクロン株対応の2価ワクチンの運用も始まる予定。一方、ファイザーワクチンが残り6,000回分程度となっており、今後はモデルナワクチンに繋げていく。新しいワクチンは1・2回目接種者を対象に、改めて10万人を対象に接種を進めることが決定した。11月から開始する見込みだが、大事業になるため、職員体制についても拡充含めて想定している。</li> <li>・日々2,000人規模で自宅療養者が出ている中、都の生活支援物資も対象が限定的になっており、健康課からの支援物資の配送やシルバー人材センターでの買い物代行、患者搬送用の</li> </ul>				

車も3台がフル稼働している。

- ・短期間で情報が目まぐるしく変わるため、正しい情報発信に努めてほしい。

### 1 新型コロナワクチン接種について

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・資料2について説明
- ・7月31日時点から4回目の接種が増加しており、一週間で約3,000回の増加となった。
- ・予約なし接種について、大規模接種会場において7月13日から8月7日まで実施し、1,124人が接種している。
- ・オミクロン株に対応したワクチンについて、厚生労働省よりの通知が出ている。内容としては、10月半ば以降の接種開始で、2回目の接種を完了した全住民が接種対象になることを想定し、接種体制の確保に必要な準備を始めるようになっており、その他詳細はまだわからない状況。
- ・厚生労働省の説明会で情報提供があった。5歳から11歳のワクチン接種について、現在は予防接種法上の努力義務とはされていなかったが、8月8日開催のワクチン分科会において努力義務の適用に関する議論がなされ、9月上旬に法改正、努力義務が適用される見込みとなっているとのこと。

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応について

(健康課長)

- ・資料3のとおり、抗原検査キットの配布対象が拡大された
- ・資料2、資料4のとおり、都及び国より通知が出ているので共有したい。
- ・資料5のとおり

(総務部長)

- ・資料4について、庁内周知は？

(健康課長)

- ・周知はこれからになる。取扱いについて関係部局とも相談したい。

### 3 各部連絡事項

(総務部長)

- ・8月の職員の感染は昨日時点で14人。お盆時期に人の接触や移動が活発になるため、お盆明けに感染者が増える可能性が高い。引き続き感染予防の徹底に努めてほしい。

(福祉保健部長)

- ・冒頭市長からもあったように、新しい2価ワクチンの接種が10万市民に対し始まっていく。コロナワクチン担当においては現在半数の職員がコロナ陽性を経験しており、庁内も延べ

200人の職員が感染を経験している。保健師についても他課の協力のもと調整している状況。

- ・10万市民に対し再度接種を進めていくとなると、多大なる人的な配慮が必要になる。必要な人員体制について相談できるよう両課長には準備をしてほしい。

- ・先日のワクチン連絡会での報告で気になったのは、ワクチン接種をした高齢者に比べて若い人の症例のほうが症状が重たいケースが多いとのこと。ワクチン接種含め一歩早い準備を心掛けてほしい。

(市長)

- ・人員体制についてはお願いいたします。第3回定例会開催中に2価ワクチンに対応するための予算を上程する必要があると思うので、そちらの対応をお願いいたします。

(以上)